





予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

事務事業名	01 観光施設維持管理事業	指標名	観光客入込数				指標種別	成果指標			指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) 目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度 400万人	H27年度 400万人	H28年度 339万人	H29年度 376万人	H30年度 382万人	H31年度 388万人	H32年度 394万人	その他の指標	-					
総合戦略	2 1 観光の振興	実績	342万人	332万人	370万人					事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)	改善目標	H28年度 引き続き、光熱費等の経費の削減を図り、観光地としての必要な維持管理を行う。				H29年度 引き続き筑波山山頂施設の改修について茨城県に要望を行う。また、観光施設として必要な維持管理を行う。				事業費(A)	78,935千円	109,907千円	120,931千円	0千円	
根拠法令等	-	事業計画	筑波山山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 各観光案内施設年間維持管理(筑波山観光案内所、おもてなし館、BiViつくば観光案内所) 梅林維持管理 宝篋山休憩所・登山道維持管理 森林体験パーク運営支援・修繕 茎崎地区観光施設維持管理				筑波山山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 各観光案内施設等維持管理(筑波山観光案内所、おもてなし館、BiViつくば観光案内所) 梅林維持管理 宝篋山休憩所・バイオトイレ維持管理 森林体験パーク運営支援・修繕 茎崎地区観光施設維持管理 市営第3・4駐車場管制装置精算機入替				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	筑波山山頂施設維持管理 ・山頂公衆トイレ2ヶ所 市営駐車場維持管理 ・市営筑波山駐車場(第1～第4駐車場) ・山麓駐車場等6ヶ所 各観光案内施設維持管理 ・筑波山観光案内所、おもてなし館、休憩所 ・BiViつくば観光案内所等 梅林維持管理 ・梅林植栽維持管理等				上半期活動実績 -				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託	成果	市営駐車場の公衆トイレ照明のLEDを行い、光熱費の削減を行った。また、照明の増設により、市営駐車場からの階段等通路の安全対策を行った。 観光案内所等の観光施設としての適切な維持管理により、来訪者の利便性向上が図られた。				上半期成果 -				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	おもてなしの意識で筑波山観光施設の行き届いた維持管理を行うことで、つくばの観光イメージを損なうことなく、快適でかつ公共の安全が確保され、更なる魅力の向上に努めるため。	課題	山頂公衆トイレの老朽化等により、維持管理が困難となっており、設置者の茨城県に要望を行っているが、改善が見込めない。また、筑波山観光案内所等の市設置観光施設においても老朽化しており、改修が必要である。				課題 -				その他特財	43,353千円	55,098千円	62,104千円	0千円	
事業の概要	市内観光施設の維持管理を実施し、快適で魅力ある観光施設を提供する。 筑波山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理 梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理 森林体験パーク運営支援、修繕 茎崎地域観光施設維持管理	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	35,582千円	54,809千円	58,827千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		人件費(B)	14,364千円	14,534千円	12,314千円				
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		正職員	1.60人	1.80人	1.50人				
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		時間外勤務	928.00時間	508.00時間	500.00時間				
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価							臨時職員等	有	有	有				
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価							事業コスト(A+B)	93,299千円	124,441千円	133,245千円				
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価							H30年度当初積算根拠	-						
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価							H30年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
	総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
	総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事務事業名	02	茎崎こもれび六斗の森管理運営事業	指標名	施設利用料収入				指標種別	活動結果指標			指標の概要	施設の充実とサービスの向上, ニーズに応じた自主事業を展開することで, 利用料収入の拡大に繋げる。				
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
					7,250千円	7,500千円	8,867千円	-	-	-	-						
総合戦略	-	-	-	-	実績	7,858千円	8,943千円	8,110千円				その他の指標	施設利用状況 H28年度実績(目標値) ・宿泊棟:2,241人(2,450人) ・テント, BBQ:11,543人(11,000人) H29年度目標 ・宿泊棟:2,500人 ・テント, BBQ:11,500人				
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)				H28年度				H29年度								
根拠法令等	-				改善目標	自主事業を充実することで, 宣伝効果を高め, サービスの向上を図り, 更なる魅力づくりを行う。また, 除草管理など, 人件費の削減を行う。				改善目標	施設の充実及び改修等を行い利用者へのサービス向上を図るほか, 利用者の安全性向上を図る。						
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	簡易な施設修繕 キャビン木部やBBQ場の修繕 BBQ場改築設計 老朽化したBBQ場を改修する設計を実施 キャビン防腐塗装工事 3棟×3年計画 キャビンテラス屋根修繕工事(BBQ対応) テラスに屋根を設置し, 雨天時でもBBQが可能				事業計画	簡易な修繕 キャビン改修工事 駐車場修繕工事 散策路修繕工事 自動火災報知設備設置工事 指定管理者との調整及び指導 屋根付きバーベキュー施設設置工事						
執行体制	指定管理者				活動実績	施設修繕 ・キャビンデッキ修繕等 BBQ場改築設計 ・敷地測量・施設設計委託 備品等購入 指定管理者との連携 指定管理者と連携し施設の維持管理を実施 自主事業 ・窯焼きピザ作り教室他				上半期活動実績	-						
事業の目的	茎崎こもれび六斗の森を適切に維持管理することにより, 受け入れ態勢の充実を図り, 誘客の促進を図るため。				成果	平成28年度キャビン防腐塗装工事の実施を予定していたが, 危険性が高いキャビンデッキの改修を優先して実施した。また, 平成29年度のBBQ場改修工事に向け, 敷地測量及び設計委託を実施した。				上半期成果	-						
事業の概要	指定管理者と連携を図り, 管理運営を行っている。指定管理者とは月1回程度で運営状況等について話し合い, 利用者のニーズに応じた柔軟なサービスの提供に努める。また, 施設の老朽化が進んでいることから, 計画的に修繕を行う。				課題	施設が老朽化しており, 利用者の安全を確保するため, キャビン・安全柵及び園路等施設の改修が必要である。				課題	-						
ISO 14001	H28環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	-				評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
		-				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-					
		-				評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
	総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
	総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事務事業名	03 レンタサイクル事業	指標名	レンタサイクル利用台数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば駅及び筑波山口での自転車の年度内貸出数						
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度						
	-	実績	3,281台	4,057台	4,346台											
総合戦略	-	H28年度				H29年度				その他の指標						
	-	改善目標	レンタサイクルを利用する方々への安全面や保管面での周知徹底を行う。				改善目標	レンタサイクルの適正な点検・修繕を行うことにより利用者の安全性を確保する。また、実施スペース減少が見込まれるため、新たなスペース確保の検討と減少後も適正に貸出できるよう利用実績等を参考に配置方法等の検討を行う。								
個別計画	自転車のまちつくば基本計画		事業計画		繁忙期と閑散期での利用実績に差があるため、的確かつ効率的な貸出形態に努め、各方面へ周知する。		事業計画		レンタサイクル ・BiViつくば観光案内所 H29.4.1～H30.3.31 ・筑波山口(関東鉄道(株)つくば北営業所) H29.4.1～11.30		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	つくば市レンタサイクル事業実施要項		活動実績		BiViつくば観光案内所及び筑波山口において、レンタサイクル貸出・維持管理を実施した。また、ホームページ及びパンフレット等によりレンタサイクルの周知を行った。 BiViつくば観光案内所 ・配置数:大人用 26台 子供用 4台 ・貸出数:大人用 3,817台 子供用 114台 筑波山口 ・配置数:大人用 16台 子供用 2台 ・貸出数:大人用 391台 子供用 24台		上半期活動実績				内訳	事業費(A)	0千円	平成28年度観光振興に要する経費	1,303千円	0千円
事業分類	A 任意的事業		成果		レンタサイクルの点検・修繕等を実施し、安全性を確保した。(自転車向け保険TSMマークの実施) TXつくば駅からの二次交通手段としてレンタサイクルが利用され、来訪者の利便性向上を図ることができた。また、つくば駅での増設及び筑波山口にスポーツ自転車を導入した。		上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託		課題		TXつくば駅周辺の駐輪場の減少により、レンタサイクル実施スペースが期限付きの拡張である。		課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	・つくば駅の周辺地域や、筑波山麓周辺地域の観光資源を幅広く活用するための利便性向上を図るため。 ・つくば駅からの2次交通手段として活用するため。		評価		有効性 中:適切な成果が得られている		評価		有効性 -		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	・つくば駅及び筑波山口で自転車の貸出業務を実施(つくば駅:通年、筑波山口:4月～11月までの8ヶ月間)。貸出にあたり、申請書受理及び利用料金の徴収等を委託。 ・自転車の修理、日別・月別利用台数調査を実施。		ISO 14001		H28環境関連性 -		H29環境関連性 -		H30年度当初積算根拠		その他特財	0千円	0千円	1,303千円	0千円	
			H28環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成		一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	
			H29環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成		人件費(B)	0千円	0千円	2,251千円		
			H28環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成		正職員	従事割合	0.00人	0.00人	0.30人	
			H29環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	20.00時間		
			H28環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成		臨時職員等	-	-	無		
			H29環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成		事業コスト(A+B)	0千円	0千円	3,554千円		
			H28環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成		H30年度の方向性	-	理由	-		
			H29環境関連性		達成		改善目標の進捗状況		達成							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
	総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
	総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事務事業名	04 広域レンタサイクル事業	指標名	広域レンタサイクル利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	広域レンタサイクル利用者数。					
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
総合戦略	2 1 観光の振興	実績	-	155	744					その他の指標	-				
個別計画	水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業	改善目標	H28年度 広域レンタサイクル事業において、当初から乗り捨てを基本と考えていたが、乗り捨てを希望されない方も一定数いるため、広域レンタサイクル事業実行委員会において調整を行う。				H29年度 茨城県他構成7市で連携し、広域レンタサイクルの実施及び利用促進のため、事業の周知を行う。また、冬季の休止期間については利用者の利便性向上を図るため、廃止または、短縮等について県等関係機関と検討を行う。								
根拠法令等	-	事業計画	実証実験から本事業に移るにあたり、関係自治体の歩調を合わせ、各メディアの露出を増やし、知名度アップを図りつつ、利用者増を推進していく。				事業計画 広域レンタサイクルの実施 ・つくば市の貸出施設：BiViつくば観光案内所 ・貸出期間：H29.4.22～H30.3.31(12月・1月は休止)								
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	茨城県及び構成7市による実行委員会により、水郷筑波広域レンタサイクル事業の実施及び運営方法等の検討を行った。				上半期活動実績								
執行体制	全て委託	成果	平成27年度の実証実験の結果を受け、平成28年度より本事業として稼働。予約のあった広域レンタサイクルをBiViつくば観光案内所より貸出を行った。				上半期成果								
事業の目的	日本初の広域レンタサイクル乗り捨てシステムを構築することにより、新たな観光ツールを提供し、観光客や地元住民が地域を周遊する動機づけとする。また、茨城県のサイクリング環境を広くPRするとともに、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	課題	冬季期間の12月から2月まで利用休止となっており、3月に利用再開となっているが、全体的な貸出数は低い状況である。また、設置数増の申し出があったが保管スペース確保が困難なため増設はできなかった。				課題								
事業の概要	つくばリソリンロードから霞ヶ浦自転車道に関連する7自治体と茨城県で水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業実行委員会を立ち上げ、委託先を決定し、自転車5台を新たに購入し、事業展開していく。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-				
ISO 14001	H28環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-							
	H29環境関連性	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)					0千円	平成28年度観光振興に要する経費	514千円	0千円
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	内訳					0千円	0千円		
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円						0千円	0千円		
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円						0千円	0千円		
		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円						0千円	0千円		
		一般財源	0千円	0千円	514千円	0千円						0千円	0千円		
		人件費(B)	0千円	0千円	760千円										
		正職員	従事割合	0.00人	0.00人	0.10人									
		内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	10.00時間									
		臨時職員等	-	-	無										
		事業コスト(A+B)	0千円	0千円	1,274千円										
		H30年度当初積算根拠													
		H30年度の方向性	-	理由	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	36,250千円	37,240千円	37,500千円	0千円
	総人件費	33,852千円	32,209千円	32,209千円	
	総事業コスト	70,102千円	69,449千円	69,709千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事務事業名	01	まつりつくば事業	指標名	来場者数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	まつりつくばへの来場者数									
戦略プラン	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
					460,000人	460,000人	470,000人	-	-	-	-						
				実績	460,000人	470,000人	440,000人										
総合戦略	-	-	-		H28年度				H29年度				その他の指標	-			
				改善目標	・桜大橋付近の安全対策を強化するため、当該付近の係員を昨年度より1名以上増加させる。				改善目標 ・民間駐車場や店舗に無断駐車があるため、警備員を増員し対応する。 ・新設マンションの入居者へ「まつりつくば」開催の周知する。								
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)			事業計画	・まつりつくば2016の開催【平成28年8月27日・28日の2日間】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：4月～5月 ・補助金の実績報告・確定：1月 ・まつりつくば大会本部会議の開催：前年度1月～1月 ・まつりつくば運営実行委員会の開催：4月～10月 ・まつりつくば外部評価委員会の開催：6月～9月 ・まつりつくば推進本部・推進会議の開催：4月				・まつりつくば2017の開催【平成29年8月26日・27日の2日間】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：4月～5月 ・補助金の実績報告・確定：1月 ・まつりつくば大会本部会議の開催：前年度1月～1月 ・まつりつくば運営実行委員会の開催：4月～10月 ・まつりつくば外部評価委員会の開催：6月～9月 ・まつりつくば推進本部・推進会議の開催：4月				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
根拠法令等	まつりつくば事業補助金交付要項			活動実績	昨年度同様に、「まつりつくば大会本部」を中心に、「オールつくば」体制のもと、平成28年8月27日(土)・28日(日)の2日間、つくば駅周辺会場にてまつりつくば2016を開催し、大きな事故等もなく、無事終了することができた。 また、ホテルオークラ駐車場を新たな会場として拡大し、例年にも増して盛りだくさんのイベント等を実施した。 桜大橋の安全対策として警備人員を増加し、店舗数を減少させた。				上半期活動実績				事業費(A)	24,706千円	25,522千円	25,751千円	0千円
事業分類	E 補助金・負担金事業			成果	・今回で36回目の開催を迎えた「まつりつくば」は、宝島社出版の雑誌「日本の祭り百選」にも県内で唯一掲載されるほど認知度が高まった。 ・来場者数は、悪天候のため昨年度よりも下回り44万人となった。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(直接)			課題	・民間駐車場や店舗への無断駐車対応が必要である。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	つくば市最大の夏まつりとして、市の地域特性を活かし市内外の人々の交流を図るとともに、つくばにいながらにしてふるさとを感じることができるまつりとするを目的に、観光振興及び市のイメージアップを図るため。			評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	「歴史・科学・多様な文化の融合により、つくばにいながら「ふるさと」を感じることができる、つくばらしいまつり」をコンセプトとし、まつりつくばを開催する。			評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
	H28環境関連性	-	-	評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			一般財源	24,706千円	25,522千円	25,751千円	0千円
	H29環境関連性	-	-										人件費(B)	25,340千円	23,927千円	23,927千円	
													正職員	従事割合	2.00人	2.00人	2.00人
													時間外勤務	3925.00時間	3500.00時間	3500.00時間	
													臨時職員等	無	無	無	
													事業コスト(A+B)	50,046千円	49,449千円	49,678千円	
													H30年度当初積算根拠				
													H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	36,250千円	37,240千円	37,500千円	0千円
	総人件費	33,852千円	32,209千円	32,209千円	
	総事業コスト	70,102千円	69,449千円	69,709千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事務事業名	02	つくば物語事業	指標名	来場者数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	つくば物語への来場者数									
戦略プラン	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
				実績	9,000人	9,000人	5,000人	-	-	-	-						
総合戦略	-	-	-		実績	3,500人	5,000人	4,000人									
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)			改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
根拠法令等	-			事業計画	・開催期日を4月中に決定し、メインの出演者を6月までに確定する。 ・つくば物語2016の開催【平成28年10月下旬】 ・開催期日、事業内容等の検討：4月～6月 ・事業計画の決定・会場その他施設等の予約：6月～8月 ・各種契約行為・イベント告知：9月～10月 ・準備行為：10月				・ステージ出演者のスケジュール調整を早期に行い、開催期日等の決定を早めに行う。 ・つくば物語2017の開催【平成29年10月下旬】 ・開催期日、事業内容等の決定：4月～6月(ステージ出演者含む) ・事業計画の決定・会場その他施設等の予約：6月～8月 ・各種契約行為・イベント告知：9月～10月 ・準備行為：10月				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A 任意的事業			活動実績	平成28年10月30日(日)に平沢官衙遺跡において、「古代遺跡で奏でる音楽の祭典」と題し、つくば物語2016を開催した。本年度は、メインゲストに歌手の花*花を迎えとともに、遺跡ガイド、地元の物産販売や飲食ブースコーナーも設置した。				上半期活動実績				事業費(A)	6,504千円	6,637千円	6,649千円	0千円
執行体制	一部委託			成果	一流のアーティストによるコンサートを呼び水に、筑波山麓の歴史遺産等の観光スポットや地元物産を広く周知することができた。 来場者数は、4千人となった。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	平沢官衙遺跡を始めとする観光スポットを認識し、良さを知ってもらい、筑波山や筑波山麓に再来訪してもらうため。			課題	・ステージ出演者のスケジュール調整に苦慮したので、開催期日の決定を早める必要がある。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	平沢官衙遺跡PRを兼ねて、一流アーティストによるコンサートをメインに地元物産の販売を実施。 手法：イベント内容を企画し、市広報・ポスター/チラシなどを作成し広報活動を行う。			評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	H29環境関連性	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			一般財源	6,504千円	6,637千円	6,649千円	0千円
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			人件費(B)	2,555千円	2,490千円	2,490千円	
												正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
												時間外勤務	122.00時間	110.00時間	110.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	9,059千円	9,127千円	9,139千円		
												H30年度当初積算根拠	-				
												H30年度の方向性	-	理由	-		





予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	36,250千円	37,240千円	37,500千円	0千円
	総人件費	33,852千円	32,209千円	32,209千円	
	総事業コスト	70,102千円	69,449千円	69,709千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事務事業名		04 くさざき夢まつり事業		指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	くさざき夢まつりへの来場者数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
実績		- - - -			11,000人	11,000人	11,000人	-	-	-	-								
総合戦略		- - - -		実績	11,000人	2,000人	10,000人												
個別計画		第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)		H28年度				H29年度				その他の指標							
根拠法令等		くさざき夢まつり事業費補助金交付要項		改善目標	・協賛金の確保を効率的に行うため、9月までに実行委員会内に「(仮称)協賛金部会」を設置する。				改善目標	チラシの区会配布範囲の拡充・市施設等での配布により、荃崎地区以外についても周知を行う。また、協賛金の確保のため、実行委員会において、新たな協賛金の創設について協議を行う。				事業実施コスト					
事業分類		E 補助金・負担金事業		事業計画	・第4回くさざき夢まつりの開催【平成28年11月19日】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：9月 ・補助金の実績報告・確定：12月 ・くさざき夢まつり実行委員会の開催：4月～12月				事業計画	・第5回くさざき夢まつりの開催【平成29年11月23日】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：9月 ・補助金の実績報告・確定：12月 ・くさざき夢まつり実行委員会の開催：4月～12月				H27年度決算					
執行体制		補助金(直接)		活動実績	くさざき夢まつり実行委員会のもと、平成28年11月20日(日)、荃崎運動公園において、荃崎地区の各種団体及び商工会会員等による物販、ステージイベント等を実施した。また、実行委員会内に委員長、副委員長で構成する協賛金部会を設置し、より円滑に運営することができた。				活動実績	-				H28年度決算					
事業の目的		地域に密着したまつりとして、様々な世代に楽しんでもらえるようなイベントを開催し、地域活性化及び交流の促進を図るため。		成果	本年度は晴天のため、開催当日の来場者は昨年度に比べ大幅に増加した。荃崎地区区会連合会をはじめ、当該地区の多くの団体が準備段階から係ったことにより、改めて当該地区の地域間・世代間の交流を促進することができた。				成果	-				H29年度当初					
事業の概要		地域のふれあいの場として昭和49年から商工業祭、平成12年度からひまわりまつりとして名称は変わってきたが、地域のお祭りとして定着している。現在は、地域活性化を促進するため、荃崎地区の区長会やPTAの関係団体等で実行委員会を組織し、より地域に根ざした市民参加型のイベントとして実施している。		課題	・市報の他、市内の他地区への周知方法を検討することが必要である。 ・事業費の重要な財源である協賛金を昨年度以上確保するため、種類や額などを検討する必要がある。				課題	-				H30年度当初					
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠					
		H29環境関連性		有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-		H30年度当初積算根拠							
				効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-		理由							
				総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	01	つくば観光コンベンション協会補助事業	指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) 目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」					
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
戦略プラン	-	-	-	400万人	400万人	339万人	376万人	382万人	388万人	394万人						
総合戦略	-	2	1	観光の振興	実績	342万人	332万人	370万人								
					その他の指標	-										
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度							
					改善目標	つくば観光コンベンション協会が主体的となった事業展開を図り、つくば市のイメージアップ及び事業収入につなげる。				改善目標	自己財源の確保など、財政基盤の強化を引き続き図るよう指導していく。					
根拠法令等	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)				事業計画	つくば観光コンベンション協会が各関係機関と連携をとりつつ、新たな事業展開に取り組んでいく。				事業計画	協会運営が適正に行われるように指導助言を行うとともに、協会との連携を強化し、観光キャンペーンや、観光イベントを実施し、更なる観光誘客を行う。					
事業分類	E 補助金・負担金事業					活動実績	つくば観光コンベンション協会の各事業に対し、適格かつ適正なアドバイス・助言等を行った。梅まつりなど様々な事業を行うにあたり、事前の打ち合わせやコミュニケーションを頻繁に行い、相互理解を深めることに努めた。				上半期活動実績	-				
執行体制	補助金(直接)				成果		観光物産課からの指導・助言等により、適正な予算執行及び各種事業等がスムーズに行うことができた。					上半期成果	-			
事業の目的	・観光コンベンション協会の財源充実、体制強化を図り、行政を超えた領域の観光事業の充実を図るため。					課題	つくば観光コンベンション協会が、独自の事業展開を行って事業収入に繋げることが責務となる。				課題		-			
事業の概要	・補助団体であることから事業に対する指導、助言を行い適正な運営を図る。 ・誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-
ISO 14001	H28環境関連性	-		-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H30年度の方向性	-		理由
	H29環境関連性	-		-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-					
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名		02 観光振興事業		指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標		指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウントした値(年集計) 目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」						
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略		- - - -		実績	342万人	332万人	370万人												
個別計画		第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)		H28年度				H29年度				その他の指標	-						
根拠法令等		-		改善目標	Biviつくば観光案内所における観光案内において、ガイドの他に様々な依頼や要望が届いており、お客様の満足アップのための接遇力を向上させる。また、つくば市総合案内所については、物産会と連携し、有効に活用する。				改善目標 観光アプリ開発のための調査研究を行い、平成30年度の予算化を目指す。										
事業分類		A 任意的事業		事業計画	つくば観光コンベンション協会委託事業であり、様々な接遇・スキルアップにつながるような研修や情報交換を積極的に実施していく。				事業計画	更なる観光誘客が図れるよう、つくばの観光PRを行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
執行体制		一部委託		活動実績	つくば観光コンベンション協会や筑波ブロック広域観光連絡協議会などの関係団体と連携し、つくば市の観光情報の発信を行うとともに、総合インフォメーションセンターBivi及び筑波山観光案内所において、つくば市を訪れた観光客に対し、案内業務を行った。				上半期活動実績	-				事業費(A)	11,682千円	5,706千円	6,438千円	0千円	
事業の目的		市内の観光情報を発信するとともに、つくば市の魅力を紹介することにより、市外からの多くの方に来訪いただき、ひいてはリピーターの増加を目指すため。		成果	・つくば市観光の知名度向上と、来訪者の満足度の向上を図ることができた。 ・つくば駅南北通路内つくば市総合案内所を物産会と調整を行い、平成28年6月より、つくば市物産館として運用を開始した。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要		各種観光PR事業を実施し、本市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。		課題	チラシ・パンフレットのほか、HPやSNSを活用し、情報の発信を行っているが、更なる情報発信ツールの検討が必要。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
		H29環境関連性		有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-		その他特財		1,000千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
				効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-		一般財源		10,682千円	5,706千円	6,438千円	0千円	0千円	
				総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-		人件費(B)		2,497千円	2,463千円	5,394千円			
												正職員		従事割合	0.30人	0.30人	0.70人		
												時間外勤務		100.00時間	100.00時間	100.00時間			
												臨時職員等		無	有	有			
												事業コスト(A+B)		14,179千円	8,169千円	11,832千円			
												H30年度当初積算根拠		-					
												H30年度の方向性		-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名		03 つくば市学術会議支援事業		指標名	国際会議開催数				指標種別	成果指標		指標の概要	市内で開催された国際会議の回数(年集計)				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		目標値は、平成27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数				
実績		- - - -		実績	90回	37回	40回	44回	47回	50回	-						
総合戦略		- - - -		H28年度				H29年度				その他の指標	-				
改善目標		- - - -		現行制度では、会議自体の赤字補てんが目的の補助金であったが、国際会議誘致のための補助金制度に改める。				国際会議の補助対象人数について、見直しを行う。また、さらに学術会議の誘致を図るため、今後は補助金だけでなく、PR等の支援についても検討していく。									
個別計画		第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)															
根拠法令等		つくば市学術会議支援補助金交付要項		事業計画				事業計画				内訳	事業実施コスト				
事業分類		E 補助金・負担金事業		国際会議開催にあたり、事前準備期間が前年度になり、それに合わせて補助金申請も前年度にほぼ確定しているため、適格かつスムーズな予算の確保、執行を行っていく。				国際会議開催にあたり、申請期間が前年度となるため、会議開催計画に合わせて適格かつスムーズな予算の確保、執行を行っていく。					H27年度決算				
執行体制		補助金(直接)											H28年度決算				
事業の目的		つくば市内における学術会議の開催促進を図るため。		活動実績				上半期活動実績				H29年度当初					
事業の概要		学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施し、それに伴う窓口業務及び広報活動をつくば観光コンベンション協会へ事務委託する。		成果				上半期成果				H30年度当初					
				課題				課題				積算根拠					
												H30年度当初積算根拠					
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況				事業の進捗状況				H30年度の方向性					
		H29環境関連性		達成				達成				理由					
				有効性				有効性									
				効率性				効率性									
				総合評価				総合評価									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名		04 筑波山交通渋滞対策事業		指標名	渋滞対策実施日数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数			
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
総合戦略		2 1 観光の振興		実績	17日	16日	18日					その他の指標	-			
個別計画		第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)		H28年度				H29年度								
根拠法令等		-		改善目標	公共交通機関である関東鉄道が運行する筑波山直通バスの運行時間短縮を実施していく。				改善目標	観光関係事業者や茨城県(土木事務所)との連携を更に強化し、渋滞の削減に努める。また、市ホームページや観光コンベンション協会ホームページにスマートホンを利用した渋滞情報を発信する。						
事業分類		A 任意的事業		事業計画	一般的な国道125号線から県道42号線を利用するルートから、う回路である表筑波スカイライン方面への車誘導を積極的に推進していく。また、一定時間の風返し峠付近を一方通行にするなど、違った方法での渋滞解消方法を検討していく。				事業計画	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに、関係事業者と連携し、渋滞対策会議を開催する。表筑波スカイラインや朝日トンネルへ積極的に車両を誘導するほか、市営筑波山駐車場へのスムーズな入庫のための対策も行う。茨城県と連携してパークアンドバスライドを実施する。						
執行体制		一部委託		活動実績	茨城県(道路維持課・県南土木事務所)、関東鉄道、観光コンベンション協会など対策会議を開催。ラジオ放送やHP・SNS等を活用した情報の発信、迂回誘導看板の設置を実施した。				上半期活動実績	-						
事業の目的		春と秋の行楽シーズンを中心に、多くの観光客が筑波山を訪れることから、市営駐車場などのキャパシティを超過して渋滞等が発生する状況となっており、これを緩和するため。		成果	渋滞日数の減および渋滞時間の短縮行うことが出来た。				上半期成果	-						
事業の概要		ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンの土日祝日に関係機関と連携して事業を実施。渋滞情報や駐車場の情報を発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導		課題	渋滞が完全に解消されたわけではないため、更なる対策が必要である。				課題	-						
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-			
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	効率性			-	理由	-
ISO 14001		H29環境関連性		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-	評価	総合評価			-		
ISO 14001		H29環境関連性		評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-	H30年度の方向性		-	-		

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	3,778千円	1,425千円	3,129千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	3,778千円	1,425千円	3,129千円	0千円
人件費(B)	3,373千円	2,198千円	5,659千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.40人	0.30人	0.70人
内職	時間外勤務	150.00時間	0.00時間	200.00時間
臨時職員等		無	有	有
事業コスト(A+B)	7,151千円	3,623千円	8,788千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名		05 おもてなし観光推進事業		指標名	筑波山観光入込客数				指標種別	成果指標		指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、筑波山観光入込客をカウントした値(年集計)		
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
総合戦略		2 1 観光の振興		実績	209万人	196万人	221万人					その他の指標	-		
個別計画		第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)		H28年度				H29年度							
根拠法令等		-		改善目標	観光ボランティアの独自組織化を目指す。ビジターセンターの機能を充実する。				改善目標	観光ボランティアのさらなる独自組織化を目指す。また、新規ボランティアガイドの育成を行う。					
事業分類		A 任意的事業		事業計画	つくば市からの補助金だけではなく、茨城県等の補助金を活用するとともに、先進地事例等の調査を行い、団体としての独り立ちをサポートしていく。ビジターセンター開設に向け、環境団体との意見交換を密にしながら、契約を行って内容等を吟味していく。				事業計画	つくば市からの補助金だけではなく、茨城県等の補助金を活用するとともに、先進地事例等の調査を行い、団体としてのさらなる独り立ちを目指しサポートを継続していく。研修会等開催予定回数 講座：6回 研修会等：12回					
執行体制		全て委託		活動実績	・ボランティアスキル向上のため、研修講座(現地研修、研修旅行を含む)を実施 ・ビジターセンターの開設 平成28年11月3日～13日 筑波山観光案内所にて実施				上半期活動実績	-					
事業の目的		観光客に対してきめ細やかで質の高い「おもてなし」を提供し、筑波山を訪れた方の満足度の向上を図るため。		成果	研修講座を開催することにより、ボランティアの技術や意識向上が見られた。おもてなしの心でビジターセンターを開設し、来訪者に筑波山の豊かな自然に親しんでいただいた。				上半期成果	-					
事業の概要		おもてなし観光の強化を図るため、観光コンベンション協会へ委託し、観光ボランティアガイドの育成を行い、行楽シーズンに筑波山周辺でガイドを行う。		課題	観光ボランティアに関して、引き続き独自組織として自立していけるようアドバイスや指導助言が必要である。				課題	-					
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
ISO 14001		H29環境関連性		有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-						
ISO 14001		H29環境関連性		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
ISO 14001		H29環境関連性		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	2,209千円	1,300千円	273千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	2,209千円	1,300千円	273千円	0千円
人件費(B)	2,764千円	2,225千円	1,519千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.20人
内訳	時間外勤務	200.00時間	10.00時間	20.00時間
臨時職員等		無	有	有
事業コスト(A+B)	4,973千円	3,525千円	1,792千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

事務事業名		06 レンタサイクル事業	指標名	レンタサイクル利用台数				指標種別	成果指標	指標の概要					つくば駅及び筑波山口での自転車の年度内貸出数							
戦略プラン		- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-											
総合戦略		- - - -	実績	3,556台	3,586台	4,000台	-	-	-	-	-											
個別計画		自転車のまちつくば基本計画	H28年度				H29年度				その他の指標					-						
根拠法令等		つくば市レンタサイクル事業実施要項	改善目標	レンタサイクルを利用する方々への安全面や保管面での周知徹底を行う。				改善目標	-				事業実施コスト					H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類		A 任意的事業	事業計画	繁忙期と閑散期での利用実績に差があるため、的確かつ効率的な貸出形態に努め、各方面へ周知する。				事業計画	観光施設維持管理に要する経費に移管				事業費(A)					1,173千円	1,399千円	0千円	0千円	
執行体制		一部委託	活動実績	事業は平成28年度より、観光施設維持管理に要する経費事業に移管 予算は平成29年度より観光施設維持管理に要する経費事業に移管				活動実績	-				内訳					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的		・つくば駅の周辺地域や、筑波山麓周辺地域の観光資源を幅広く活用するための利便性向上を図るため。 ・つくば駅からの2次交通手段として活用するため。	成果	-				成果	-				地方債					0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要		・つくば駅及び筑波山口で自転車の貸出業務を実施(つくば駅：通年、筑波山口：4月～11月までの8ヶ月間)。貸出にあたり、申請書受理及び利用料金の徴収等を委託。 ・自転車の修理、日別・月別利用台数調査を実施。	課題	-				課題	-				その他特財					1,173千円	1,399千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性 - H29環境関連性 -	事業の進捗状況	-				事業の進捗状況	-				一般財源					0千円	0千円	0千円	0千円	
			有効性	-				有効性	-				人件費(B)					2,558千円	2,251千円	0千円		
			効率性	-				効率性	-				正職員					0.30人	0.30人	0.00人		
			総合評価	-				総合評価	-				時間外勤務					123.00時間	20.00時間	0.00時間		
											臨時職員等					無	有	-				
											事業コスト(A+B)					3,731千円	3,650千円	0千円				
											H30年度当初積算根拠					-						
											H30年度の方向性					-	理由	-				



予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名		07 フットパス事業		指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標		指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウントした値(年集計) 目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
実績		-			400万人	400万人	339万人	346万人	353万人	360万人	-						
総合戦略		- - - -		実績	342万人	332万人	370万人					その他の指標	-				
個別計画		第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)		H28年度				H29年度									
根拠法令等		-		改善目標	・各地区毎の埋もれた観光資源を掘り起こすため、実施場所の現地検証や地元住民の方々の理解を深める。 ・昨年実施出来なかったフットパスを活用したウォーキングイベントを1回以上実施する。				改善目標	・フットパスを活用したウォーキングイベントなど、誘客につながる施策を実施する。							
事業分類		A 任意的事業		事業計画	・筑波山麓(北条～平沢)において、フットパスコースを設定する。 ・専門家や地元有識者、区長等などの意見集約を行い、最小限で最大の効果を発揮すべく道標の本数も検討を行い、事業実施していく。				事業計画	・小田地区において、道標を設置する。 ・他部署と連携したイベントなどフットパスの効果的な活用方法の検討を行い、事業実施していく。							
執行体制		一部委託		活動実績	平成28年度においては、専門家のアドバイスや関係区長との意見交換を実施し、小田地区周辺にフットパスルートを設定した。				上半期活動実績	-							
事業の目的		市内に点在する観光資源を線としてつなげるため、フットパスコースを設定するとともに、道標を整備し、年間を通して魅力的な観光空間を提供し、恒常的な観光誘客を図るため。		成果	新たなフットパスルートを設定することにより、観光客誘客につながる観光資源の開拓を行うことが出来た。				上半期成果	-							
事業の概要		フットパスコースの企画・設定、道標を設置するとともに案内マップを作成し、市内外に広く周知する。		課題	フットパスルートを利用したツアーやイベントなどの企画も実施していく必要がある。				課題	-							
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-				
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		-					
ISO 14001		H29環境関連性		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		-					
ISO 14001		H29環境関連性		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
ISO 14001		H29環境関連性		事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	H30年度当初積算根拠							
ISO 14001		H29環境関連性		事業費(A)		1,604千円	1,152千円	1,151千円	0千円	-							
ISO 14001		H29環境関連性		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	-							
ISO 14001		H29環境関連性		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	-							
ISO 14001		H29環境関連性		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	-							
ISO 14001		H29環境関連性		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	-							
ISO 14001		H29環境関連性		一般財源		1,604千円	1,152千円	1,151千円	0千円	-							
ISO 14001		H29環境関連性		人件費(B)		2,229千円	2,331千円	2,251千円		-							
ISO 14001		H29環境関連性		正職員		従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	-							
ISO 14001		H29環境関連性		時間外勤務		0.00時間	50.00時間	20.00時間	-								
ISO 14001		H29環境関連性		臨時職員等		無	有	有	-								
ISO 14001		H29環境関連性		事業コスト(A+B)		3,833千円	3,483千円	3,402千円	-								
ISO 14001		H29環境関連性		H30年度当初積算根拠		-					理由						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	08 (H28)第2期つくば市観光基本計画策定事業	指標名	観光入込客数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」				
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-	-	346万人	353万人	360万人	-	その他の指標	-					
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	-	-	H28年度			H29年度							
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日策定)	改善目標	新たなつくば市の観光指標となるべく計画を策定していく。				改善目標	-			事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
		事業計画	有識者メンバーの選定やスケジュールを策定し、速やかに計画作成を実施していく。				事業計画	・第2次つくば市観光基本計画(最終案)を5月庁議に付議し、策定を行う。 ・平成31年度の中間検証に向け、各種データ等の収集を行う。								
根拠法令等	-	活動実績	策定委員会を5回実施するとともに、パブリックコメントを実施し、計画の最終案を策定した。				上半期活動実績	-			内訳	事業費(A)	0千円	3,857千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業	成果	第2次つくば市観光基本計画の最終案を策定することが出来た。				上半期成果	-			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託	課題	-				課題	-			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	つくば市における観光の可能性を認識し、つくば市の持つ観光資源や特性を最大限に活用し、観光振興を図るとともに、観光施策を総合的かつ体系的に構築する。	事業の概要	「つくば市観光基本計画策定委員会」及び「庁内ワーキングチーム」を形成し、つくば市観光のあり方、今後の方針・施策について検討し、その方針に沿って計画を策定していく。				事業の概要	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている			人件費(B)	-	5,394千円	2,225千円			
	H29環境関連性	-	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			正職員	0.00人	0.70人	0.30人			
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			時間外勤務	0.00時間	100.00時間	10.00時間			
										臨時職員等	-	有	有			
										事業コスト(A+B)	0千円	9,251千円	2,225千円			
										H30年度当初積算根拠	-					
										H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	09 広域レンタサイクル事業	指標名	広域レンタサイクル利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	広域レンタサイクル利用者数。
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
総合戦略	2 1 観光の振興	実績	-	155	-					
個別計画	水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業	改善目標	H28年度				H29年度			
根拠法令等	-	事業計画	広域レンタサイクル事業において、当初から乗り捨てを基本と考えていたが、乗り捨てを希望されない方も一定数いるため、広域レンタサイクル事業実行委員会において調整を行う。				改善目標			
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	実証実験から本事業に移るにあたり、関係自治体の歩調を合わせ、各メディアの露出を増やし、知名度アップを図りつつ、利用者増を推進していく。				事業計画			
執行体制	全て委託	成果	事業は平成28年度より、観光施設維持管理に要する経費事業に移管 予算は平成29年度より観光施設維持管理に要する経費事業に移管				上半期活動実績			
事業の目的	日本初の広域レンタサイクル乗り捨てシステムを構築することにより、新たな観光ツールを提供し、観光客や地元住民が地域を周遊する動機づけとする。また、茨城県のサイクリング環境を広くPRするとともに、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	課題	-				-			
事業の概要	つくばりんりんロードから霞ヶ浦自転車道に関連する7自治体と茨城県で水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業実行委員会を立ち上げ、委託先を決定し、自転車5台を新たに購入し、事業展開していく。	事業の進捗状況	-				-			
ISO 14001	H28 環境関連性	有効性	-				-			
	H29 環境関連性	効率性	-				-			
		総合評価	-				-			
		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初				
		事業費(A)	485千円	485千円	0千円	0千円				
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
		その他特財	0千円	485千円	0千円	0千円				
		一般財源	485千円	0千円	0千円	0千円				
		人件費(B)	-	760千円	0千円					
		正職員	0.10人	0.10人	0.00人					
		時間外勤務	0.00時間	10.00時間	0.00時間					
		臨時職員等	-	無	-					
		事業コスト(A+B)	485千円	1,245千円	0千円					
		H30年度当初積算根拠	-							
		H30年度の方向性	-	理由	-					



予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	16,961千円	17,306千円	13,501千円	0千円
	総人件費	5,973千円	5,164千円	7,990千円	
	総事業コスト	22,934千円	22,470千円	21,491千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	15	観光宣伝に要する経費

事務事業名	02	サイエンスツアー事業			指標名	サイエンスツアー利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばサイエンスツアーオフィスを通じてサイエンスツアーに受入した人数			
戦略プラン	12	1	観光の振興		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
総合戦略	2	1	観光の振興		実績	20,366人	20,188人	16,135人					その他の指標	-		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)				H28年度				H29年度							
根拠法令等	つくばサイエンスツアー-推進事業に係る協定書				改善目標	・外国人受け入れのための体制強化として、英語・中国語・韓国語のパンフの作成及び英語の話せる職員の雇用を図る。				改善目標	・インバウンド誘致に向けたPR強化 ・アグリツーリズムや筑波山等市内に点在する観光資源との連携強化					
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	・< 誘客件数 > ・学校団体200校, 15,000名 ・一般団体140団体, 5,000名 ・つくばサイエンスツアーバス利用者6,000名 ・外国人誘客 > ・外国人受入体制強化のため、サイエンスツアーオフィスに外国語対応可能な職員を配置 ・英語版ホームページの作成				事業計画	つくばサイエンスツアーバスを土日祝日に運行する。利用者増加のための特別イベントを実施する。 ・外国人誘客 > ・英語版ホームページの作成 ・筑波大留学生等を活用した外国語ガイドの養成					
執行体制	補助金(直接)				活動実績	・< 誘客件数 > ・学校団体155校, 12,846名 ・一般団体129団体, 4,130名 ・つくばサイエンスツアーバス利用者4,277名, 同バスを活用したイベント18回 ・サイエンスツアーオフィスに英語対応可能なスタッフの配置 ・英語でのサイエンスツアーバス特別イベントの実施 集計対象の見直しにより利用者減				上半期活動実績	-					
事業の目的	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性を活かし、市外から観光客を誘客するため。				成果	世界有数の最先端科学技術が集積する「科学の街つくば」の知名度及び魅力向上に効果を上げている。また、外国語版パンフレットの配布及び英語対応可能スタッフの配置により、外国人旅行者に対する適切な対応ができた。				上半期成果	-					
事業の概要	つくばサイエンスツアー実行委員会(事務局:茨城県)から(財)茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託し、学校団体を中心に、一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客する。				課題	・インバウンド誘致に向けたPR強化 ・筑波山やセグウェイツアー等市内に点在する観光資源との連携強化				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている	評価	有効性	-	総合評価	-				
					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-	総合評価	-				
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施						H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	59千円	84千円	296千円	0千円
	総人件費	1,679千円	1,657千円	2,331千円	
	総事業コスト	1,738千円	1,741千円	2,627千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	16	観光客動態調査に要する経費

事務事業名		01 観光客動態調査事業		指標名	観光客(筑波山観光客)入込数調査日数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	筑波山での交通量調査とアンケート調査日数						
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
実績		-			-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略		- - - -		実績	24日	12日	8日					その他の指標	-						
個別計画		第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)		H28年度				H29年度											
根拠法令等		-		改善目標	調査日当日の天候によって、交通量が大きく違いデータにも差異が生じるため、雨天時の際の予備日を設けるなど調査方法の見直しを行う。				改善目標	天候に左右されないように調査日数を増やし、より正確なデータを取る。									
事業分類		D 内部管理事業		事業計画	5月・8月・11月・2月の平日と休日の2日間の観光入込客数調査(交通量調査)を行う。さらに、休日については、パラメータ調査(聞き取り調査)を実施				事業計画	筑波山において5月・8月・11月・2月の観光入込客数調査(交通量調査)およびパラメータ調査(聞き取り調査)を実施。また、観光施設への入込客数及びイベントの入込客数の把握。									
執行体制		職員のみ		活動実績	当初の計画通り、計8日調査を行った。さらに、休日については交通量調査と合わせて、聞き取り調査も行った。また、つくばエキスポセンターをはじめとする7施設に協力を依頼し、各施設の月別の入込客数を調査した。他に、まつりつくば等のイベントの入込客数を調査し、県に報告した。				上半期活動実績	-									
事業の目的		つくば市を訪れる観光客の動態を把握することにより、観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得るため。また、当該事業は茨城県からの委託事業であり、事業を実施、報告するため。		成果	つくば市内の主だった観光スポットである筑波山や各施設の入込客数を調査することにより、市内観光入込客数を把握することができた。(H28観光入込客数:3,700,300人)				上半期成果	-									
事業の概要		つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び、筑波山への入込数を調査し、県に報告する。筑波山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設より報告を受け、県に報告している。なお、通年調査の他、集客数の大きいイベントについても、来場者数を報告している。		課題	筑波山交通量調査の調査日が県の統一指定日のため、結果が天候に左右されやすい。				課題	-									
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-						
H29環境関連性		-		有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-									
H29環境関連性		-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-									
総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	875千円	1,802千円	0千円	0千円
	総人件費	842千円	832千円	0千円	
	総事業コスト	1,717千円	2,634千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	17	物産品振興に要する経費

事務事業名	01	市内物産品振興事業			指標名	市内物産品のPR及び出店イベント数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	市内外にて、物産会会員が物産品のPR及び出店したイベントの数。					
戦略プラン	12	1	観光の振興		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
実績	-	-	-	-	32件	28件	28件													
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-						
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日策定)				改善目標	・物産会と連携した市内物産品の普及活動				改善目標	-									
根拠法令等	-				事業計画	・市内外で開催されるイベントやキャンペーンにて市内物産品のPR及び販売を行う。				事業計画	平成29年度より産業振興課へ所管替									
事業分類	A 任意的事業				活動実績	・新規6件を含む28件のイベントやキャンペーンでの出展を調整し、市内外で市内物産品をPR販売。 ・つくば駅構内に「つくば市物産館」をオープンし、市内物産品の販路拡大及び販売を促進。 ・つくばコレクション新規2品・更新3品を認証				上半期活動実績	-									
執行体制	職員のみ				成果	物産会への補助やイベント出展調整、つくばコレクション認証により、市内外に市内の物産品を広くPRし、物産品の普及・販路拡大に寄与した。				上半期成果	-									
事業の目的	市内の物産品の振興をとおし、つくば市のPRや観光振興及び、地域経済の活性化に資するため。				課題	市内物産品のさらなる振興				課題	-									
事業の概要	物産会の特産品普及促進事業に対し補助金を交付するとともに、市内外で実施するイベントへの出店調整を行うなど、物産会と連携し、市内物産品振興に努める。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠							
ISO 14001	H28環境関連性	-			評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-								
	H29環境関連性	-				効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-								
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-								
															事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
															事業費(A)	875千円	1,802千円	<small>H29年度より産業振興課へ移管</small>	0千円	
															国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
															その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
															一般財源	875千円	1,802千円	0千円	0千円	
															人件費(B)	842千円	832千円	0千円		
															正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.00人	
															内訳	時間外勤務	37.00時間	37.00時間	0.00時間	
															臨時職員等	無	無	-		
															事業コスト(A+B)	1,717千円	2,634千円	0千円		
															H30年度当初積算根拠	-				
															H30年度の方向性	-	理由	-		